



総務省

「防災情報通信セミナー2016秋冬」を開催

近畿総合通信局は、11月29日KKR HOTEL OSAKAにて、近畿地方非常通信協議会、近畿情報通信協議会との共催で「防災情報通信セミナー2016秋冬」を開催しました。

今後の防災・減災分野におけるIoTの利活用
日本電気株式会社 執行役員 受川 裕氏

近年、想定を超える大規模災害が発生している中、現在の防災・減災活動におけるICTの活用は、個々の取組（情報収集・情報分析・情報伝達）に対して個別に最適なシステムを活用したものとなっているが、「IoTを活用した情報共有の仕組み」を取り入れることにより、災害情報の把握と予兆の検出によって効果的な対処方法を導くものとする、同社のIoTサービスプラットフォームなどについて紹介されました。



大規模災害時の非常用通信手段の在り方について
～ICTによる災害医療・救護活動の

強化に向けた総務省研究会報告書の概要～
総務省情報通信国際戦略局 技術政策課 山口 真吾 企画官

災害時、国民の生命・身体を守る医療活動には通信の確保が不可欠となっています。

「大規模災害時の非常用通信手段の在り方に関する研究会」の提言について説明を行いました。

また、非常用通信手段の人材育成の必要性、人工知能を活用した災害対策機関向けの情報分析についても紹介いたしました。



展示会では、IoTを活用した災害情報共有システムをはじめ、AR技術を活用した、災害シミュレーション装置、ドローンを活用した救援支援システム、臨時放送システムなど、災害時の情報伝達を目的とした展示が行われました。

近畿総合通信局からは、災害対策用移動通信機／可搬型通信装置ICTユニットの展示を行いました。

本セミナーが、多種多様な情報伝達手段を活用し、有効な防災・減災対策を進める上での一助となるよう、今後も取り組んでまいります。



近畿総合通信局の展示

IoTを活用した
災害情報共有システム





総務省

e-かわらばん近畿

近畿総合通信局

2016年12月26日

第225号 2/3

放送技術セミナーを開催

近畿総合通信局は、近畿受信環境クリーン協議会との共催により、12月8日に大阪市内で「放送技術セミナー」を開催いたしました。



LED照明からの電磁雑音が通信・

放送に与える影響について」

講師：東北学院大学工学部電子工学科教授 石上忍 氏

省エネルギー機器の普及には欠かせない、スイッチング回路からの電磁波によるテレビ、ラジオへの受信障害について、また、LED照明からの妨害波測定の問題点や妨害源の特定方法など、専門的知識から説明されました。

「放送を巡る諸課題と今後の政策展開」

総務省情報流通行政局 久恒達宏 放送技術課長

インターネット動画配信の普及、テレビ保有率の変化など放送を巡る社会環境は変化しています。

スマートテレビ、放送のインターネット配信などこれら諸課題の対応、インターネット時代におけるNHKのあり方等について、「放送を巡る諸課題に関する検討会」のとりまとめをもとに説明されました。

続いて、4K8K放送サービスの高度化についても話されました。



会場の様子



第49回「受信環境クリーン図案コンクール」入賞作品

セミナー会場は満席となり、放送分野の関心の高さがうかがえました。会場では、第49回「受信環境クリーン図案コンクール」入賞作品の展示を併せて行いました。

近畿総合通信局は今後も近畿受信環境クリーン協議会と連携し、セミナー等の開催を行ってまいります。



総務省

— 正確な情報提供と正しい理解の普及のために — 電波の安全性に関する説明会を奈良市内で開催

近畿総合通信局は、12月9日に奈良市内において「電波の安全性に関する説明会」を開催しました。一般市民の方々や医療従事者などを対象に、電波の安全基準や健康への影響など、電波の安全性に関して、正しい知識と理解を深めていただくために実施するものです。これまでの行政の取り組みのほか、医療電磁環境及び医学（生体電磁気学）的観点から、それぞれの分野にて第一線で活躍されている専門家の方々に最新情報を分かりやすく説明いただきました。

最初に、近畿総合通信局安永望電波監理部長より、電波の安全性に関する調査・研究、国際的な連携・協力及び電波防護指針など総務省の取り組みについての説明がありました。

続いて、佐賀大学大学院工学系研究科花田英輔教授からは、医療現場においては、患者情報の迅速かつ確実な共有のために無線通信が必要不可欠であり、医療機器への電磁波障害の事例や医療現場に無線通信技術を導入する手法について解説されました。

その後、京大大学生存圏研究所の宮越順二特任教授から高周波電波の健康への影響について、携帯電話基地局からの電波の生体影響評価や国際がん研究機関の実験結果から今後必要とされる研究課題について解説されました。

総務省では、安全で安心な電波利用環境を確保するため、電波の安全性に関する情報を今後とも提供していきます。



「電波の安全性に関する総務省の取組」
近畿総合通信局 電波監理部長 安永 望



「医療現場における安心安全な無線通信の利用と電磁環境～安全安心な活用のために～」
佐賀大学大学院 工学系研究科
教授 花田英輔 氏



「電波と健康～国際的評価とトピックス～」
京都大学 生存圏研究所
特任教授 宮越順二 氏



スマートフォン時代に対応した青少年の
インターネット利用に関する連絡会（スマホ連絡会（近畿））

<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/sumaho-kinki/index.html>

編集・発行

近畿総合通信局
総務部総務課 企画広報室

〒540-8795
大阪市中央区大手前1-5-44
大阪合同庁舎第1号館
TEL: 06(6942)8508
<http://www.soumu.go.jp/soutsu/kinki/>